

ちょっとした工夫でやる気爆発！

# 驚異の面白勉強法 7連発っ

スーパー学習アドバイザー

ムーチョ・ササキ

## 目次

はじめに

【面白勉強法】 耳でも勉強しよう！

【面白勉強法】 日常会話に取り入れよう！

【面白勉強法】 ダジャレを使おう！

【面白勉強法】 家じゅうに紙を貼ろう！

【面白勉強法】 タイマーを使おう！

【面白勉強法】 いろんな場所で勉強しよう！

【面白勉強法】 すきま時間を活用しよう！

おわりに

## はじめに

はじめまして。スーパー学習アドバイザー、ムーチョ・ササキこと佐々木敬一と申します。  
小さな個人塾を運営しながら「面白勉強マガジン！」というメルマガを発行しています。

このたびは、当レポートをダウンロードしていただき、ありがとうございます。

このレポートのタイトルを見たとき、

「面白勉強法？ふざけたタイトルだなあ。勉強なんか、面白いわけないじゃん」

って思いませんでした？

まあ、そりゃそうです。

勉強なんて、面白くはないですね、はっきり言って。

ただし、それは、「何の工夫もしなければ」という条件つきの話です。

**工夫次第で、勉強は絶対に面白くなります。**

勉強を面白くするためのコツのひとつとして、

**「勉強と遊びの境界線をなくしていく」**

とい考えかたがあります。

これ、重要ですよ。メモって、メモって(笑)

私は今回、この考えにのっとり、当レポートを作成しました。

勉強はつまらない。

でも、だからこそ、面白くなるように工夫しようじゃありませんか？

というわけで、「面白勉強法」本題に入ります。

## 【面白勉強法】 耳でも勉強しよう！

iPod でもMP3プレーヤーでもMDウォークマンでもいいんですが  
あぁいった**携帯音楽プレーヤー**、勉強に使えるんですよ、知ってましたか？

使い方はいろいろありますが、  
まず一番ポピュラーなのが、**英語のリスニング**ですね。

教科書の本文を覚えたければ、**教科書準拠のCD**を買えばいいですし、  
**リスニング問題**のCDも最近はいくつもあります。

そういう音源を自分のプレーヤーに落とし込みましょう。

お金をかけたくなければ、ラジオの**英会話講座**を録音してもいいですし、  
ネイティブの英語が聴き取れるようになりたければ、  
**AFN**(旧FEN。米軍放送)の面白そうな番組を聴くのもいいでしょう。

好きな映画の音声だけ録る、というのもあります。

英語以外の科目にも使えますよ。例えば、歴史。

日本史をとっている高校生には、次の教材がおすすめです。

**NEW 石川日本史 B 講義の実況中継(1) 原始~古代 実況中継シリーズ**  
石川 晶康 定価: ¥ 1,050

これは私、実際に買いましたが、なかなかいいですよ。  
CDつきのテキストで、CDもテキストも、どちらも内容は充実しています。

ちょっとした時間にこれを繰り返し聴けば、歴史の流れがばっちりつかめるようになります。  
年号の語呂合わせも時々教えてくれるので、それも使えます。

日本史で大学受験をする人はぜひシリーズ全部そろえてほしいと思います。

あと、究極は、

## 自分の声で録音しちゃう

という手もあります。

わたくしムーチョは受験生時代、古文単語を覚えるために、カセットテープ(うわっ。時代を感じるなあ)に録音しました、自分の声を。

やりかたは超簡単。

古文単語の教材を見ながら、ひとつずつ見出しの単語を読みます、単語を読んだ後、何秒か間を空け、次にその意味を言う。

その繰り返し。

で、それを聴くわけです。

聴きながら、テープの声が意味を言う前に、自分で答えてみます。

何度も繰り返しているうちに、どんどん正解率が高くなり、いつの間にか夢中になっている、というわけです。

クイズ感覚で面白いですよ。

最初のうちは、自分の声を聴くのに抵抗があるかもしれません。録音した自分の声って、いつもと違って、ヘンな感じだし。

でもそれは慣れの問題で、自分の声も聞き慣れれば、いずれナンとも思わなくなりますよ。

「音楽聴くために買ったのに、勉強になんか使いたくないな」

と思う人もいるでしょう。

私も最初はそうでした。気持ちはよくわかります。

でもね、私が言いたいのは、

**「とにかくやってみて」**

ということです。

あの、それに、言っておきますけど、この勉強法、私だけがオススメしているわけではないんですよ。

今思い出せる限りあげてみると、

東進衛星予備校のカリスマ英語講師、安河内哲也氏は、

**「いつでも耳にイヤホンをつっこんどけ」**

と言ってますし、

「年収10倍アップ勉強法」という本を書いた経済評論家の勝間和代氏は、

この勉強法を「**耳でする勉強**」と呼び、

ご自身もMDやMP3プレーヤーを愛用しているようです。

あと、マーケティングの世界では知らない人はいないという、

超有名な経営コンサルタント神田昌典氏も、

**「成功者はみんなテープを聴いて勉強している」**

と言っています。

学生にも社会人にも有効な勉強法、というわけです。

この勉強法のいいところを思いつく限りあげてみましょう。

### **1) 勉強道具を開けない場所でもできる**

満員電車のなか、とか、身動きできない場所でもできるわけです。

### **2) 何かをしながらでもできる**

掃除をしたり、食事をしたり、歩いたり、自転車の乗ったりしながらでもOKです。

### **3) 努力がほとんどいらない。**

聴いてるだけですから。特に集中していなくても、繰り返し聴けば効果はあります。

#### 4) 疲れない。

聴いてるだけです。目を使いすぎると目ってけっこう疲れますが、耳は、大音量で聴いたりしなければ疲れにくいものです。

#### 5) 繰り返しは苦にならない。

聴いてるだけですから(笑)

#### 6) ちょっとした時間にもできる。

人を待っていたり、行列に並んでいた、トイレの順番を待っているときなど...

#### 7) 勉強してないふりしながら勉強できる。

「あいついつも音楽聴いてるだけなのに勉強できるなあ。きっと天才なんだな」と勘違いされる(笑)

いや～、こんなにメリットがあるんですから、やらなきゃソンソンですよ～。

## 【面白勉強法】 日常会話に取り入れよう!

どちらかというと、おしゃべりでお調子者と言われる人向きの勉強法です。

学校や塾で、新しいことを習ったら、日常の会話にどんどん取り入れていきましょう。

この方法も、英語が一番向いています。

朝起きたら家族に向かって、**Good morning**(グッドモーニング)。

友達に会ったら、**Hello**(ハロウ) または **Hi**(ハイ)。

時間を訊くときは、**What time is it?**(ホワツタイムイズィットウ)

「なんで?」と言いたいときは、**Why?**(ホワイ)

「なぜなら」と答えたいときは、**Because**(ビコーズ)

などなど...

そもそも英語は言語なのでから、

日常生活で使いまくる、というのは、ごくまっとうな勉強法なわけです。

家族や友達数人で、「**英語しか使っちゃいけないタイム!**」というのを作っても面白いですよ。

最初に日本語言った人が負け、というルールにするのです。

ただ、全員がある程度英語を知っている、という条件が必要ですが。

もちろん、他の科目にも応用することが出来ます。

< 社会 >

例えば、朝食に納豆が出るために「**納豆食べて平城京!**」

と叫ぶとか(平城京は710年に出来たので710<なっとう>という語呂合わせ)、

< 理科 >

**水**を飲むたびに

「これって、**電気分解**すると**水素**と**酸素**になるんだよね、不思議だよね」

と友達に語りかけるとか、

窓に出来た水滴を見るために「はい、**露点**に達していまーす」と言うとか、

< 国語 >

「ぼくはね、きのうね、よるね、ねるのがね、おそかったんだ」と「ね」をわざと入れて文を文節に区切る練習をすとか、いくらでも出来ますね。

そもそもこれらのことを言うには、覚えてなくちゃ言わないわけだから、それだけで充分勉強になっているわけです。

要は、

**復習というのは、机に向かっていなくても出来る！**

ということなんです。

言ってみれば半分遊び、というかギャグですね。  
それでも徹底すれば効果は絶大なはずです。

馬鹿馬鹿しいとは思いますが、実践してみれば、かなりの効果が期待できます。

なぜなら、誰かに話しかけた時の、

場所

その人の様子

周りの様子

自分の感情

などと、勉強内容が結びつけられるからです。

ほら、思いだしてみてください

勉強内容は復習しないと忘れてしまう人も、自分が体験したことは、わざわざ復習しなくても、覚えているでしょ？

しかも、楽しかったり、逆にムカついたり、といった感情が伴う体験は、そう簡単には忘れないものです。

だから、好きな異性(まあ、同性でもいいですが)に、勉強した内容を話してみれば、それこそ効果絶大、間違いなしです。

この勉強法は、普段冗談を言うキャラじゃない人は、やりにくいとは思いますが。  
でも、ごく親しい友達になら、「**こういう勉強法があるんだって**」  
と言って、お互いに試してみることが出来ますよね？

あと、家族になら、「**こういうのも勉強になるんだって**」  
とあらかじめ説明しておけば、快く協力してくれるかもしれません。

親しさがビミョーな仲間にいるとき肝心なのは、ちょっとおどけた感じで言うこと。  
要するに「**ちょっとした冗談ですよー**」という口調でやることです。

大真面目にやると、馬鹿にしたり、怒り出したりする人がいるからです。

でも最初からこちらがふざけていることを演出しておけば大丈夫(たぶん)。

馬鹿馬鹿しいと思った人もいると思いますが、騙されたと思ってやってみてください  
意外にハマっちゃうかもよ？！

## 【面白勉強法】 ダジャレを使おう！

ダジャレ好きな人は、どんどん勉強に応用していきましょう。  
ダジャレ、要するにオヤジ・ギャグってやつですね。  
世間では、オヤジ・ギャグへの風当たりはなかなか厳しいですが、  
実は暗記の最強の武器になるんです！

何を隠そう(隠してないか)、わたくしムーチョもダジャレ大好き人間です。  
でも、そのおかげで、受験生時代は難しい英単語や熟語を  
楽しく覚えることができました。

英単語連想記憶術 第1集 心理学が立証した必須4000語の獲得 (青春新書)  
武藤 たけ雄 定価: ¥ 1,155

英単語連想記憶術 第2集 笑いながら獲得する必須3000語 (青春新書)  
武藤 たけ雄 定価: ¥ 1,155

実際に私が受験生時代に使っていたものです。  
もう、かれこれ20年以上前だというのに、まだ売ってたんですね。  
表紙も同じなんで、ちょっとびっくりしました。

我々の受験生時代、単語集と言えば通称「でる単」と呼ばれる、  
「試験に出る英単語」という本が主流で、多くの受験生がこれを使ってました。

「英単語連想記憶術」のほうは、私のまわりには使っている人、いませんでした。

「これいいよ」と何人かの友達にすすめたこともありましたが、  
反応は、イマイチでした。

だから、「英単語連想記憶術」、自分では重宝していましたが、  
世間的にはマニアックな単語集、というイメージでした。

なのに、まだ出ているとは。

「愛用してる人、意外に多いんだな」と思い、なんか嬉しいです。

ともかくこの本は、ダジャレで英語と日本語を結びつけるという、**ダジャレ好きにはたまらん勉強本**なのです。

今でも印象深く覚えているものをいくつか挙げておきます。

arrest (アレストゥ) 「逮捕する」

という単語の見出しで、

「アレすっと逮捕する」

すばらしいでしょ？

もう、二度と忘れません。

もちろん、こんなうまくいってる場合は稀で、  
けっこう強引で、苦し紛れのやつもいっぱいあります。

でも、それはそれでいいんです。  
ダジャレ好きには、その無理矢理具合もけっこう楽しかったりするんです。

受験生時代の私はさらにエスカレートして、  
**「自分でダジャレ暗記法を考え出す」**  
というのにもチャレンジしました。  
「英単語連想記憶術」に載っていない単語や熟語出てくるたびに自分で覚え方を考え、  
はしからノートに書き出していくのです。

特に、私の第一志望だった早稲田大学第一文学部の英語の問題は、  
普通の熟語集では扱ってないようなマニアックな熟語がけっこう出るので。  
そういう、辞書にチラ、としか出ていない熟語を大量に覚えるのに、  
このダジャレ暗記法は、かなり役に立ちました。

まあ、ただ、こういう邪道のような覚え方、  
人によっては全然受け付けないんですよ。

特にダジャレを嫌悪している人はなおさらです。

ですから、そんな人には特に強くはおすすめませんが、  
ただ、そんな人でも、実はダジャレの頼りになってるんじゃないの？  
という気もするんです。

ほら、歴史の年号の語呂合わせ、

794年で「鳴くよウグイス平安京」

とか、

1192年なら「いいくに作ろう鎌倉幕府」

とか。

こういった、語呂合わせも、立派なダジャレの一種ですね。

こういう定番のやつも便利だけど、自分で考えるのも楽しいですよ。  
自分で作るのが快感になってくると、それこそ、勉強と遊びの境界線がなくなって、  
超ハッピーな境地に達しまっせ！！

最近私が考えたダジャレ暗記法は、  
国連の常任理事国の覚え方で、

**「アフロ注意！」**

というやつです。

アメリカの「ア」、フランスの「フ」、ロシアの「ロ」、  
中国の「ちゅう」、イギリスの「い」で、「アフロ注意！」

状況説明も考えてあります。

常任理事国の代表が集まっているところへ、  
一人だけ、アフロ・ヘアで来た人がいて、その人が皆に注意される、という状況です。

この状況を頭の中で映像化しておく、より楽しいし、覚えやすいのです。

「イ」がイギリスかイタリアかわからなくなりそう、という人にはさらにダメ押し。

「アフロ注意！」

「異議あり！」

注意された人が言い返す、という設定です。

「異議(いぎ)」でイギリスということです。

これでイタリアと間違えるということもないでしょう。

完璧です、はっはっはっ。

ダジャレを使った暗記法、まだまだあるので、

メルマガ等で今後もおいおい紹介していきましょうかい(おいおい。)

すいません。調子に乗りすぎました。

## 【面白勉強法】 家じゅうに紙を貼ろう！

暗記ものの最大のコツは、なんと言っても**反復練習**です。  
繰り返し、繰り返し、覚え直す。これは鉄則です。

でも、

それでも、

何度やっても、

なかなか覚えられないものって、出てくるんですよねー。

そういう場合、どうしてます？

私の場合は、

### 紙に書いて貼る

ということをやってみました。

どうせ貼るなら、効果的なほうがいいと思うので、コツのようなものをあげておきます。

#### 出来るだけ、大きい紙に書く

小さくてもA4、出来ればB4かA3サイズがいいです。

#### 一枚に一項目

小さい字でいろいろ書いても、遠くからでは見えないので、思い切り大きな字で

書いてください。

単語だったら、1個だけ。公式も1つだけ。用語も1つだけ。そのほうが効果的です。

### 色を使って、目立たせる

カラーのマジックか太めのマーカーで書きましょう。

一緒に絵を描くと、より記憶の助けになります。

### 出来るだけ、目立つ場所に貼る

あなたがよく目にする場所がいいですね。一日に何度も見る場所。

例えば、トイレの壁とか、時計の横とか、テレビの近くとか、玄関とか…。

せっかく貼っても、あまり目にしない場所だと、効果はないですね。

### 貼り紙を見る前に思い出す

何回か見ているうちにだんだん覚えてくるはずですから、

そしたら今度は**確認作業**のほうを増やしたほうがいいでしょう。

例えば、トイレに数学の公式が貼ってあったとします。

そしたら、トイレに入る直前にそれを思い出そうとするのです。

で、トイレで用を足しながら確認。これ、なかなかいいでしょ？

覚えたものまで一緒に流さないように注意してね )

### たまに貼りかえる

確実に覚えたら、貼り替えましょう。

いつまでも貼っていると、だんだん新鮮味がなくなってくるので、効果は薄れます。

個人差があると思うので一概に言えませんが、2～3週間、長くても1か月くらいを目安にしてください。

こういう経験ありませんか？

暗記事項を確認するとき、

「えー、確かあれはノートの右上に書いてあったぞ」  
みたいな思い出しかた。

記憶術では、場所と結びつけると覚えやすい、という法則があるみたいですよ。

## 紙に書いて貼る

というのも、場所と結びつけて覚える方法の一つで、理にかなった覚え方なわけです。

ぜひ、実践してください。

## 【面白勉強法】 タイマーを使おう！

勉強にタイマーを使うというのなかなかいい方法ですよ。  
お料理に使ういわゆるキッチンタイマーで十分です。

昔はキッチンタイマーもけっこう高かったですが、  
最近は100円ショップでも売ってますから、簡単に手に入ります。

うちの塾では、英単語や漢字を覚えてもらう時、タイマーを取り出して、  
「はい、じゃあ今から5分で覚えて」  
と言って生徒に練習してもらいます。

で、5分後にピピピッと鳴ったらテスト開始。

これを、自分で勉強する時にもやるわけです。

実際、うちの生徒にも自習をしにくるとき、  
「先生、タイマー貸して」  
と言いに来る子がいます。

こちらから言わなくても、すすんで使います。  
楽しいみたいですよ。

タイマーを使って「制限時間内にやるぞ」と思ってやると、  
ちょっとしたゲーム感覚があり、モチベーション・アップにもつながるからだと思います。

休憩時間にも使えますよ。

10分休憩、と決めたら10分にセットし、ピピピッと鳴ったら勉強再開。

あと、どうしても毎回ダラダラと続けてしまう行為にケジメをつけるためにも使えます。

テレビをダラダラと見てしまう、とか、  
パソコンを開くとついネットサーフィンをながながとやってしまう(私です)、とか、

ゲームを延々とやっちゃって勉強の予定が狂ってしまう、とか。

これらのダラダラ行為をストップさせるためにも非常に有効です。

親や他人に「もう、やめなさい」と言われるとムカッときますが、  
この場合は、ちょっとだけ過去の自分に

**「おい、もう時間だぞ」**とされているわけです。

なかなか反発できないですね。

ぜひ、実践してみてください。

## 【面白勉強法】 いろいろな場所で勉強しよう！

ここでは、長時間勉強するときのちょっとした工夫の仕方をお伝えします。

長時間勉強していると、疲れが溜まってきますよね？  
勉強そのものによるストレスもあると思いますが、  
それ以上に、同じ場所にずっと座っていることでも疲れは溜まってきます。

そんなときは、休憩をしっかりとってください。

ただ、試験前など、貴重な時間が残り少ない時は、休憩ばかりとっているわけにもいきません。

そういうときは、**場所を変えましょう。**

長時間勉強し続けていくには、「場所を変える」というのはかなり有効な方法です。  
図書館の自習室を使ったり、ファミリーレストランに勉強道具を持ち込んだり…。

家の中でも、普段は自室で勉強しているなら、キッチンや食堂、トイレなど、  
他の部屋で勉強するという手もあります。  
単語カードなどを持って、ベッドに寝転がりながらの勉強もアリだと思います。  
(そのまま眠っちゃわないように注意)

気分転換も兼ねられますし、「ああ、あれは確か食卓で覚えたなあ」と、  
記憶の助けにもなります。

【面白勉強法】で紹介した「**耳でする勉強**」法であれば、ヘッドフォンをつけて外へ散歩に出かけながら、勉強することだってできます。

歩くことで足に適度な刺激を受けると、その刺激が脳の神経にも伝わり、頭の働きを促進するらしいですよ。

昔の哲学者には散歩好きな人が多く、  
散歩中に新しいアイデアがひらめくことが多かったという話を聞いたことがあります。

電車やバスに乗る機会が多い人は、車内でも大いに勉強しましょう。  
昔私はわざと山手線に乗ってずっとぐるぐる回り続け、  
何時間もテキストを読んだことがあります。  
家で読むよりかなり集中できました。

その気になれば、どこだって勉強できる、ということです。

要は形でなく、どれだけ頭に入ったか、ということですから。

## 【面白勉強法】 すきま時間を活用しよう！

すきま時間ってわかりますか？

順番待ちとか、人を待ってる時間とか、通学・通勤時間とか、行動と行動の間のちょっとしたすきまにできる時間のことです。

こういう時間もうまく使えば、有効な勉強時間になります。

1回1回は短くても、何日も続ければ膨大な時間になりますし、1回の時間が短いので逆に集中しやすいという利点もあります。

特に、仕事を持ちながら勉強している人にとっては、このすきま時間の使いかたが成否を分けると言ってもいいでしょう。

具体的な活用法をお話していきます。

### カード、ノートなどを使う

カードやノートなどの暗記アイテムをいつも持ち歩いていれば、突然できたすきま時間にすばやく対応できます。

普通のノートだと持ち歩きにくいので、小型サイズのノートや手帳などがいいですね。

単語や漢字、重要語句など、覚えるべきものをこれらに書き込んでおく癖をつけておきましょう。

私は使ったことないので詳しくはわかりませんが、任天堂のDSにも勉強に使えるソフトが多いようです。

それらをすきま時間にやるのもいいですね。

### ヘッドフォンを使う

前にもお話しした「耳でする勉強」ですね。

これこそまさにすきま時間の必須アイテム。

お持ちの携帯音楽装置に覚えるべき内容を録音しておきましょう。  
カードやノートと違って、歩いていたり自転車で乗っていたり使えるところが最高です。

ちなみに私はよく食器を洗いながら、「耳でする勉強」を実践しています。

### 何も持っていないとき

カードもノートもヘッドフォンも持ってきてないよ～、  
というときも、あきらめるのは早いです。

な～んにも持ってなくても出来る復習法を伝授いたしましょう。

それは、

### 「思い出そうとする」

という方法です。

今日の授業を思い出す。  
昨夜、自分が勉強した内容を思い出そうとする。

これだけでも、じゅうぶん復習になります。

記憶においては、覚えるより**思い出す**ほうに力点を置いたほうが効果的だと言われています。  
いわゆる確認作業になるので、記憶の強化につながるわけです。

しかも、これをやって、

### 「あー、勉強したのに思い出せない」

というものがあれば、気になってしょうがないから、家に帰ってからすぐに確かめるでしょ？  
モチベーション・アップにもつながるわけです。

以上です。参考にしてみてください。

**すきま時間**の活用、決してあなどれませんぜ。

## おわりに

いかかがでしたでしょうか？

ちょっとでも「面白そうだな」、「使えそうだな」と思えたものは、  
すぐに実践してみてくださいね。

勉強は、基本的に楽しいものではありませんが、だからこそ楽しくなるような工夫をする  
のは、とても大切なことだと思います。

ただ「つまらない」とこぼしながら、いやいや勉強するのではなく、自分なりに工夫してみ  
てはどうでしょう？

このレポートが少しでもそのためのヒントになってくれたら、と願っているのですが・・・。